会議記録

附属機関の名称	熊谷市総合振興計画審議会
開催日時	令和8年2月18日（水）13時00分から13時46分まで
開催場所	熊谷市役所　本庁舎3階　303会議室
出席者	【委員】 　小鮒賢二会長、栗原良太副会長、川田勝巳委員、石井智章委員、夏目亮一委員、原山俊市委員、宇野悦朗委員、武田隆子委員、長澤元樹委員 　（※小林洋一委員、吉田公一委員、小林敏宏委員、細井幹夫委員、嶋田勝利委員、向井清委員は欠席） 【事務局】 　小林市長、増田総合政策部長、田谷企画課長、服部副課長、萩原主査
傍聴人	0人
問い合わせ先（所管課）	総合政策部企画課（市役所本庁舎3階） 電話　048－524－1111（内線215）
内容	**1　開会** **2　あいさつ**　小林市長からあいさつ **3　自己紹介**　委員、事務局職員それぞれが自己紹介 **4　会長・副会長の選出**　会長に小鮒委員、副会長に栗原委員を選出 **5　議事**　審議会条例第6条第1項の規定により、会長が議事進行 ⑴　会議の公開について 　熊谷市附属機関の会議の公開に関する要綱に基づき会議を公開とし、要旨をまとめた会議記録を作成、公開することが決定した。 ⑵　第2次総合振興計画後期基本計画の進捗状況について 　事務局から令和7年度熊谷市総合振興計画審議会資料、成果指標の実績値及び進捗状況一覧（資料1）、まちづくり市民アンケートの集計結果（資料2）及び令和7年度事務事業評価（令和6年度評価）一覧表（資料3）に基づき説明を行った。 　主な意見、質問等は次のとおり。 （意見、質問等） （委　員）資料2の中で、回収率　32.7%とあるが、地域に回収率のばらつきはあるか。 （事務局）P2　のⅠ⑶に回答いただいた方の居住エリアが記載されている。最も高い割合の中央エリア　36.2%と、最も低い東部エリア　10.3%で　25%程度の差があるため、回収率はエリアによって開きがあるものと考えられる。 （委　員）回収率が低いことに原因はあるか。

	（事務局）ランダムに抽出しているため、エリアごとに居住している人数が異なることも考えられるが、原因については把握していない。 （委　員）資料2P2 について、前年に比べ回答者の年代、居住年数、年齢層の割合が異なっている。この割合の増減が結果に影響しているか。 （事務局）答のエリアや年齢層によって集計結果にばらつきが出てしまう可能性がある。そのため、単年の結果ではなく、複数年の結果を見て、次の施策を検討していきたい。 （委　員）若い世代のイメージがグラフによっては下がっているように見える。若い世代にとって良い施策を考えることが重要、意見を取り入れる機会、場所が増えると良い。 （委　員）資料2の結果を見て、ほっとしている。年齢別で、50 歳代以下で約48%、60 歳代以上で約 49%とほぼ同じになっている。P4 の問 1 で住みやすいが約 52%、住みにくいが約 13%、問 3 の愛着を感じているが約80%、感じていないが約 19%、問 4 の誇りを感じるが約 53%、感じないが約 45%となっている。思ったよりも市民の方が肯定的な意識を持っている。この部分について、年代別の満足度の分析ができれば明確になってくる。 （委　員）資料1P2 3-4-1「民生委員等による見守り実施件数」が、遅れているとなっているが、目標6万件であり、民生委員が少なくなっているため、数字的にどうかと考える。また、資料2P10 政策3施策4の満足度が下がっている。民生委員が少なくなっているため、目標の設定についてどうか。 （事務局）計画を策定したところから年数が経っており、当時の希望値で高い目標だった可能性がある。次期計画策定時には、同じような項目がある場合は、担当課において数値の見直しを検討する。 （委　員）民生委員が何人くらいいて、1人の方が何件くらい担当しているか、そこから目標設定されたと思う。 （事務局）手持ちの資料では不明であるため、後日回答させていただく。欠員となっている地区もあり、民生委員が減少している。 ⇒（事務局回答）2月1日現在 298 人（主任児童委員を除く。）、担当世帯数は平均 307 世帯である。また、見守り訪問を定期的に行っている世帯については、「単身高齢者台帳」及び「在宅ねたきり高齢者台帳」を基にしており、1人当たり平均6～7人である。 （委　員）第7民協では、三尻、大麻生、籠原の地区で構成しているが、1人当たり7人から 13 人程度を担当し、独居の見回り活動を実施している。毎月、活動記録を提出しているので、担当課で把握している。全体では約 55 人の民生委員が不足している。目標件数6万件を達成するには、民生委員を増やさないと無理である。 （委　員）資料3の 315「商工業者連携新製品開発応援事業」が廃止・断念、資料1P3 の 5-5-1「新製品等開発事業補助金の対象となった件数」が遅れて

	いるとなっている。ぜひ、こういった事業は続けていただきたい。 （委　員）市外から熊谷市に来られた方のことを考えると、文化公園、ピピア、妻沼中央公民館のトイレについて、古いままになっている。講師を呼んだ場合、トイレを使用しないことはないため、改修をお願いしたい。南口の文化センターはきれいになって安心した。どこに伝えたらよいかわからず、この場で発言した。熊谷市に来られた方が、トイレきれいだった、使いやすかったと広がると、行ってみようと思う方が増えると思う。 （委　員）資料2のアンケートの回収率が低いということだが、設問が多すぎることが原因ではないか。前年度と比較するため、同じ設問にするのはわかるが、できれば若い人が回答する途中で飽きないような工夫を、今後検討してもらいたい。 **6　閉会** 以上

※　この会議記録は、熊谷市附属機関の会議の公開に関する要綱第10条に規定する様式第2号により、作成しています。